

事例7

生活科:なつがやってきた シャボン玉で遊ぼう

関連する10の姿: ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑥思考力の芽生え

参考 東京書籍「あたらしいせいかつ上 教師用指導書授業展開編」みずであそぼう

実施時期

1学年7月(6・7/7時間)

思いや願いをもつ

経験を生かす

活動や体験をする

感じる・考える

表現する・行為する

ストローが違うからじゃないかな。息をゆっくりふくと…

保育園の時にはうまくできたのに、うまくいかない。なぜかな。

一緒に遊ぶといろいろなシャボン玉ができたよ。

せーの!

見て見て! うまくいった!

ブクブクした泡をふいてもシャボン玉になるんだね。

みんなで吹くとどうなるかな。

大きな雲みたいだよ。

2人で息を合わせたら、もっとたくさんの泡ができたよ。



④道徳性・規範意識の芽生え
友達と楽しく活動しながら、きまりを意識して、周りの人の気持ちを考えて行動している。

③協同性
人数が多ければ多いほど息を吹き込んだ泡が増えたり、泡同士がくっつきあってかさを増していったりすることを楽しんでいる。

★汚れたりぬれたりしてもよいだけでなく、友達と思いや思いに声を掛け合って作ったり遊んだりすることができるよ、園での経験を基に道具や材料等を工夫する。

⑥思考力の芽生え
友達と一緒に飛ぶことでしゃぼん玉の飛び方の共通性や風向きとの関係性に気付いている。

一人でできないことを友達と一緒に達成することで関わりが増え、友達と活動するよさに気付いている。

ストローよりも簡単かも。

いろいろな道具を使って、変化に気付いたり、試したりしている。

みんな同じ方向に跳んでいったよ。なぜかな…。

風が関係しているんじゃない?

めざす子供の姿 遊びや学びのプロセス(10の姿) ○先生の関わり ★環境づくり ※架け橋期のカリキュラム参照

児童の姿	学校生活やクラスの友達などの環境に慣れ、学習や生活を進めている。		
目標 教科	夏其自然と関わりたいという思いをもち、これまでの経験から遊び方を想像しながら、身近な石けん水や道具を使っていろいろなシャボン玉遊びを楽しむ。また、遊びを創り出すことの面白さに気付くとともに、夏其自然を楽しむことができるようにする。 生活(6・7/7時間)		
評価規準 主に関わる10の姿	これまでの経験から、自分のおもちゃの動きや遊び方を想像し、いろいろな遊びを楽しんでいる。 生活【思・判・表】 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑥思考力の芽生え		
展開・主な学習活動	児童や教師の発言	○指導上の留意点	* 接続期に応じた指導の工夫
教科【資質・能力】 評価規準(評価方法)			
思いや願いをつ	1 遊ぶ相談をする。		
経験を生かす	活動や体験をする 2 道具を作って遊ぶ。		
感じる・考える	3 遊びや道具を改良して楽しく遊ぶ。		
表現する・行為する	4 遊び発表会を開き、自分たちの遊びを紹介する。		
○指導上の留意点	* 事前に図書資料や教師の手作り玩具を置き、手に取れるようにする。 * 保護者にも活動予定を知らせ、道具や服装などを準備してもらう。		
児童や教師の発言	<p>ほくは太いストローをもってきたよ。</p> <p>○活動のめあて、材料や注意点を全体共有してから、グループで活動について話し合う。 ・シャボン液は人に向けてたり飲んだりしないようにしよう ・ストローやハンガーの道具を工夫しているんな大きなサイズのシャボン玉を作りたいな</p>		
児童や教師の発言	<p>お店の吹き口はこんな形だったよ。</p> <p>○これまでの経験や調べたことを基に、グループで道具を作ったり遊んだり、後で作り直したりして遊ぶ。 ・すぐ割れるけど、ぶくぶくすると面白いな ・園ではハンガーで大きなシャボン玉を作ってたよ</p>		
児童や教師の発言	<p>どうしたら割れずにふくらむかな。</p> <p>* 教師も一緒に活動し、児童の気付きや困り感をつながり声かけをする。</p>		
児童や教師の発言	<p>そっと吹くんだね。教えてあげて。</p> <p>○楽しい遊びを認めたり、中断して遊び発表タイムを提案し、遊び方や道具の工夫を共有したりする。 ・うちわの骨だと吹かなくてもたくさんできるよ ・息も風もそっと入れるとふくらむね ・カップの泡も一緒に吹くと大きくなって面白いな</p>		
児童や教師の発言	<p>友達と同じ向きに飛ばよ。風かな。</p> <p>* シャボン玉の変化やそのきっかけを共有し、工夫できるようにする。</p>		
児童や教師の発言	<p>シャボン液が散ると目がいたくなるから周りの人を確かめて遊ぼう。</p> <p>○友達の遊び方をまねたり工夫したりして遊ぶ。</p> <p>○遊び方や道具、ルールなどの工夫を発表し合う。 ・せーので一緒に吹いてどこまで飛ばか競争したよ ・もこもこ泡づくりや泡とばしを覚えてもらったよ</p>		
児童や教師の発言	<p>○楽しく遊ぶため工夫したことや気付いたこと、頑張ったことを、カードに絵や言葉で描く。</p> <p>* 思いや感触、感覚を想起できるよう、活動時の発言等も投げかける。</p>		
教科【思考・判断・表現】	<p>「幼児期や日常に経験したやり方で遊んだり、友達が試したやり方を聞いたりしながら、色々な遊びや遊び方を楽しんでいる。(行動観察、発言)</p> <p>季節の遊びのよさや友達と遊びをつくる楽しさなど、気付いたことをカードに絵や言葉で表現している。(作品、行動観察)</p>		